

けいはん ねやがわ 京阪本線（寝屋川市）連続立体交差事業

受賞機関 大阪府
寝屋川市

はじめに

寝屋川市域では、近年人口が急増したことから駅周辺部における慢性的な交通渋滞を引き起こしており、特に、当地域の東西交通幹線である寝屋川府道踏切（交差道路名：府道枚方交野寝屋川線）は、1日あたり9時間48分も遮断されていた。このような開かずの踏切は「寝屋川市のまちづくり」の再生に大きな障害としてたちはだかっており、渋滞解消の抜本的な対策として連続立体交差事業に取り組んだ。

事業概要

事業名称：京阪本線（寝屋川市）連続立体交差事業

事業期間：昭和56年度～平成13年度

事業延長：約1,780m

事業費：376億円

事業の特徴

本事業は、京阪寝屋川市駅を中心とした鉄道の高架化や関連側道及び駅前広場を一体的に整備する事業であり、特に、鉄道工事の施工については、本事業区間の両側がすでに高架化されていたため、東側に高架仮線を敷設する仮線方式を採用し、また、駅部においては、商業施設のビルが密集し、同時に施工する駅前整備等による制限もあるため、直上高架方式を採用した。一方、駅施設及び周辺道路におい



寝屋川市駅舎ホーム内



高架区間一般部

ては、安全性を十分配慮し、福祉のまちづくりにちなんだバリアフリー化を図っており、歩道には、景観に配慮したインターロッキングブロック、デザイン化された照明灯や植樹帯、高木を植栽するなど緑の演出効果にも意を配したものとなっている。

本事業の完成により寝屋川市駅周辺の踏切部における慢性的な交通渋滞や鉄道により分断されていた市街地の一体化が図られるなど都市機能の「ひずみ」が解消され、また、関連側道の整備により住環境の改善や防災機能の強化が図られ、市民生活の向上に多大に寄与した。そのほか、これら直接的効果のみならず、本事業が駅前周辺の再整備の起爆剤となり東西駅前広場の再整備や市駅東地区の再開発など寝屋川市の玄関口にふさわしいまちづくりが着実に進められている。



事業着手前

事業着手後